

そ う せい  
**叢生**  
(乱ぐい歯、八重歯、凹凸)

あごの大きさと歯の大きさの不調和から起こります。見た目がよくないだけでなく、歯垢もたまり、虫歯や歯周病になりやすいです。またよく噛めません。

● 叢生(乱ぐい歯) 非抜歯症例 → 途中から 抜歯症例



● 叢生(八重歯) 非抜歯症例



はんたいこうごう  
**反対咬合**  
(受け口) [5~7歳]

下の歯が上の歯より前に出ているかみ合わせです。食べ物がよく噛めないことがあります。また発音が聞きとりにくい場合もあり、顔つきもしゃくれた感じになります。

● 乳歯反対咬合 ● 反対咬合



● 使用装置



か がく ぜん とつ げ か きょうせい  
**下顎前突外科矯正**  
〔成人〕

歯科矯正だけでは治らない場合はあごの骨を切除して移動させる外科矯正手術をする場合があります。



じょう がく ぜん とつ  
**上顎前突**  
(出っ歯) [8~10歳]

上の歯が前に出ているかみ合わせです。外傷で前歯を折ったり、唇を切ったりしやすく、見た目も口元が目立ちます。



● 使用装置

ヘッドギア

上顎の成長を抑えます



バイオネーター

上の前歯を引っ込め、下顎を成長させます



# かい 咬 [8~10歳]

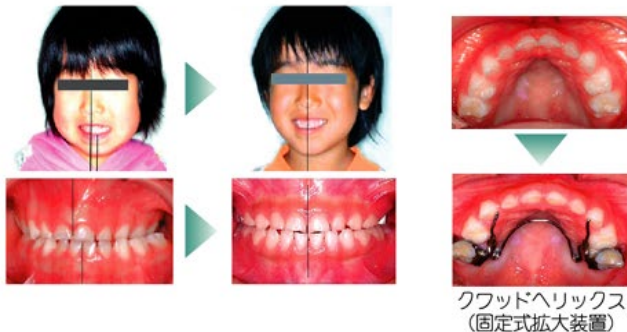
かみ合わせても上下の前歯にすき間ができています。指しゃぶりを長い期間していたり、舌を前に出す癖、口で息をする習慣などから起こります。食べ物が咬みきれないだけでなく、正しい発音ができないことがあります。



舌癖防止装置

# こう さ こう ごう 交叉咬合 [5~6歳]

上下の歯のかみ合わせが左右にずれています。指しゃぶりがいつも同じ側を下にして寝る癖、頬杖などが原因となることがあります。顔がゆがんで見えたり、かみ合わせのずれから顎関節症を起こすこともあります。



クワッドヘリックス  
(固定式拡大装置)

# そう き かく だい 早期拡大

乳歯の時から矯正装置を使用して歯列を拡大すると、歯と歯の間にすき間ができ、大人の歯がきれいに並びやすくなります。歯並びが気になったら早めに矯正の相談をしましょう。

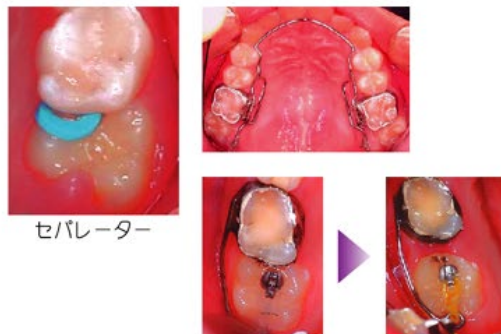
## ● 早期拡大 (5歳10ヶ月)



一年後

# ほう しゅつ い じょう 萌出異常

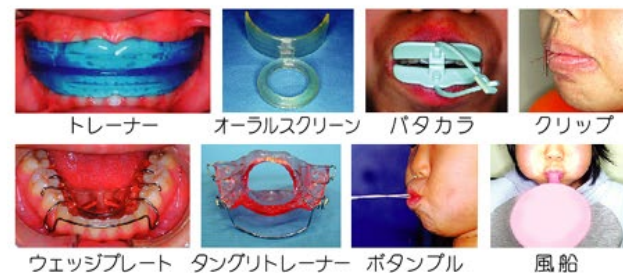
永久歯が萌出する場所が狭いと、異常な位置から萌出することがあります。簡単な装置で正しい位置に戻しておきましょう。



セパレーター

# きん き の う く ん れ ん 筋機能訓練

普段口をポカンと開けていたり、つばを飲むとき舌が前へ突き出ていませんか？正しい飲み方は、唇を閉じて舌を上あごにつけ、奥歯を咬みしめて飲み込みます。口腔周囲筋機能の不調を取り除く訓練を筋機能療法 (MFT) といいます。訓練の補助装置や道具を紹介します。



トレーナー

オーラルスクリーン

パタカラ

クリップ

ウェッジプレート

タングリトレーナー

ポタンプル

風船

# た その他

上下の歯を咬ませるための顎間ゴムの使用、いつまでも出てこない歯の開窓牽引、後戻り防止のための保定装置 (リテーナー)、目立たない透明なブラケット、矯正治療中の口腔清掃不良によるむし歯の発現など。



顎間ゴム使用

開窓牽引

ワイヤー固定

リテーナー (治療後の後戻りを防止)

セラミックブラケット

矯正治療中の口腔清掃不良によるう蝕